

さがの土地改良

佐賀県土地改良事業団体連合会
～水土里ネットさが～



〔写真〕「佐賀県ため池保全管理サポートセンター」開設

CONTENTS

専務理事就任挨拶	1	令和3年度本会役員・職員配置	5～7
ため池サポートセンター開設	2	どかいれん短信	8
第63回通常総会	3	◇換地委員等実務研修会 ◇人吉市役所災害復旧支援 ◇複式簿記導入促進特別研修会 ◇農地・水多面的機能推進協議会	
第63回土地改良事業功労者表彰	3	どかいれんの話題	9
第62回全国土地改良功労者等表彰	3	◇新人紹介 ◇ひとこと	
農業農村整備優良地区コンクール農村振興局長賞受賞 ..	4	お知らせ	10～11
九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体・	4	◇複式簿記導入巡回指導計画 ◇非補助農業基盤整備資金 ◇土地改良施設賠償責任保険 ◇土地改良法律相談 ◇第43回全国土地改良大会 ◇ふるさとの田んぼと水子ども絵画展2021 ◇会員のうごき ◇連合会手帳	
連合会九州協議会合同政策提案			



「専務理事就任のご挨拶」

佐賀県土地改良事業団体連合会(水土里ネットさが)

専務理事 高 田 俊 行

各市町並びに土地改良区の会員の皆様方におかれましては、日頃から「水土里ネットさが」に対してご支援いただいていることに対しまして、心よりお礼を申し上げます。

このたび、副島前専務理事の退任に伴い、2月16日において、理事会からの選任と総会において承認いただき、4月1日から専務理事に就任いたしました。

現在、日本のみならず世界は、新型コロナウイルス感染症により経済は大きな影響を受けるとともに、地球規模の異常気象による大規模災害が頻発しております。

さらに日本では、少子高齢化で人口減少などによる担い手不足により、農地や農業用施設の管理に支障を来し、営農の継続が困難になるなど様々な課題に直面しております。

このような中、国では、R 3. 3月には土地改良長期計画が閣議決定され、人口減少社会においても持続的に発展する農業や安全で安心して多様な人々が住み続けられる農村を目指すための施策やそのための予算がR 2 補正と併せR 3 年度当初に6, 300億円が確保されました。

平成22年度に半減された農業農村整備事業予算も当初比で0.76と回復してきています。これも会員皆様が地域の農業振興には、基盤整備事業が必要であることを機会あるごとに訴えていただいた成果と感謝申し上げます。当連合会としても、県との連携を図りながら、こうした予算が、本県農業農村の持続的発展に繋がるよう田島会長とともに全力で努めて参りたいと考えております。

さて、佐賀県の基盤整備（ほ場整備、かんがい排水事業など）は、ほぼ完了し、現在は、その施設が、経年変化とともに老朽化などにより機能が低下してきております。このような施設の長寿命化や更新が必要になってきておりますが、一方で先述のとおり少子高齢化で人口減少や担い手不足の課題もあります。

このため今後は、単純に更新するのではなく将来の営農像を地域でしっかり描いていただき、それに必要な整備をするということが重要と考えます。

例えば、施設の統合や除却などのダウンサイジングや既存施設の有効利用、集積集約による大規模化など維持管理の低減を図り、園芸作物への転換やスマート農業への新たな投資など、稼げる農業を目指し、持続的に発展する農業の実現を図ることが必要です。

今後とも、農地や農業水利施設等の維持保全、防災・減災対策、農業の有する多面的機能の発揮など将来に向けた対策が円滑に進むよう、国、県と会員である市町、土地改良区の皆様と一緒に、役職員一同、取り組んで参りたいと思いますので、これまで同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

「佐賀県ため池保全管理サポートセンター」開設



「佐賀県ため池保全管理サポートセンター」の看板を設置する池田 県農林水産部長(右)と本連合会田島会長



報道記者からの質問へ答える高田専務理事(右)



現地パトロールの状況

近年の集中豪雨や大規模な地震により、ため池の決壊による下流域への甚大な被害が危惧されていることから、農業用ため池の適正な保全管理を図り、ため池災害を未然に防ぐことが重要となります。

これら農業用ため池の保全管理を支援するために「佐賀県ため池保全管理サポートセンター」が令和3年6月1日、本連合会へ開設されました。

同センターの開所式では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ佐賀県農林水産部池田部長をはじめ関係者の御出席を頂き、本連合会田島会長は「県内のため池は老朽化が著しく、地元住民の不安を取り除くためにも技術的な指導や助言を行う。関係者の協力をお願いしたい」と挨拶しました。

佐賀県内には2,665カ所の農業用ため池(令和3年3月末時点)があり、このうち決壊すれば人的被害を及ぼす恐れがある「防災重点農業用ため池」の指定は1,419カ所(53%)となっており、同センターではため池管理者からの相談対応や目視による現地パトロールをはじめ、今後は市町及びため池管理者へ向けた講習会を予定しています。

ため池管理者の相談窓口

毎週火・木曜日
 ※土日祝日、年始年末は除く
9:00～12:00／13:00～16:00
☎ 0952-24-6273
 ✉ tameike-support@midorinet-saga.jp

●電話でのご相談の際には、
 ①ため池のコード番号
 ②ため池の所在地
 ③ため池の名前
 をお知らせ下さい。
 ●メールでのご相談は、
 水土木ネットさがホームページのフォームより
 入力して下さい。
 ●来所による相談は、あらかじめ電話で予約を
 お願いします。
 ●ため池管理者以外の方は、
 お住まいの市町担当窓口
 へご相談下さい。

支援の内容

相談窓口
 防災重点農業用ため池に関する日常管理の補修、応急対策、補修、廃止、点検・管理方法や地元の管理体制づくりなどの相談に対応します。

現地パトロール
 現地へ向き目視程度で調査し、管理状況や施設の状態を取りまとめ、管理者へ報告します。
 (状況によっては、ドローン等を活用します。)

技術指導・助言
 現地確認や現地パトロール等の結果に基づき、適正な管理方法や補修、廃止等に向けた技術的な指導・助言を行います。

普及啓発
 ため池の管理者等を対象に、日常管理の方法や緊急時の対応など、ため池管理に必要な技術習得に関する研修会等を行います。

地元のため池管理者から
 状況を聞き取りする
 本サポートセンター職員(右)

佐賀県ため池保全管理サポートセンターへお礼状が届けました

第63回通常総会



挨拶する本連合会 田島会長



審議を語る江頭議長

令和3年2月16日、本連合会第63回通常総会及び第63回土地改良事業功労者表彰式を佐賀市「グランデはがくれ」において開催しました。

当日は池田宏昭 佐賀県農林水産部長を来賓に迎え、江里口秀次副会長の開会挨拶、田島健一会長の主催者挨拶で開会。議事に先立ち土地改良事業功労者表彰式が行われ、永年土地改良に携わり尽力された池田喜慶氏(北浦溜池土地改良区理事長)、他5名の功労者に対して、田島会長から表彰状及び記念品が授与されました。

総会は、議長に江頭幸氏(川副町土地改良区理事長)が選任され議事に入り、第1号議案から第7号議案まで慎重審議の結果、全議案原案どおり承認可決され審議を終了しました。最後に、農業・農村の維持並びに本県農業農村整備事業のより一層の推進を図る決裁が採択決定され、秀島敏行理事の開会挨拶で一切を終了しました。

第63回土地改良事業功労者表彰

令和3年2月16日、土地改良事業功労者表彰は、土地改良事業へ長年にわたり御尽力された功績をたたえ、本連合会田島会長から6名の方々に表彰状及び記念品が贈られました。

受賞者氏名

(所属)

池田 喜慶	(北浦溜池土地改良区理事長)
野口 正 凱	(佐賀土地改良区総務担当理事)
吉 富 隆	(三養基西部土地改良区理事長)
野中 敏 宏	(佐賀東部土地改良区事務局長)
岩 永 康 則	(伊万里市土地改良区前副理事長)
池田 信 文	(北多良土地改良区副理事長)

【順不同敬称略】



第62回全国土地改良功労者等表彰

(令和3年3月25日付)

○団体表彰

全土連会長表彰

川上南部土地改良区

○個人表彰

井上 式彦(上場土地改良区前理事)

喜多 誠(佐賀県土地改良事業団体連合会事務局長)

農業農村整備優良地区コンクール農村振興局長賞受賞『農業生産法人(株)イケマコ』



表彰された農業生産法人イケマコの池田社長(左)と本連合会の田島会長

農業農村整備事業の実施地区内において、収益力の向上や担い手の体質強化が図られ、また、活力ある農業・農村地域の発展と振興の実現に取り組まれたことを表彰する「農業農村整備優良地区コンクール」で「農業生産法人株式会社イケマコ(佐賀市川副地区)」が農村振興局長賞(農業部門)に選ばれました。

本来なら東京での表彰式が予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響により本連合会で伝達式を開催し、田島会長からイケマコの池田社長へ賞状が渡されました。

川副地区では、昭和60年代から圃場整備事業が実施され平成8年に完了。その後20年が経過し、施設の老朽化や農地の排水不良による農作物の収量低下が課題となっていました。

平成27年から令和元年にかけて農業基盤整備促進事業で暗渠排水を再整備し、農地の排水改良により生産性の向上が図られ、平成19年に「農業生産法人株式会社イケマコ」が設立されました。担い手不足解消への取組みや減農薬栽培の「スマート米」として付加価値をつけ、基盤整備や暗渠排水などの事業効果により、作物の収量も向上し、さらなる省力化を図るために県内のIT企業と連携しドローンやAIを活用したスマート農業にも積極的に取り組まれています。

九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会による要請活動を実施



佐賀県の推進状況を説明する江里口佐賀県NN協議会長



要望書を手交

九州農業農村整備事業推進協議会及び土地改良事業団体連合会九州協議会は、令和3年6月24日、九州農政局長をはじめ幹部へ向け、両協議会合同による農業農村整備事業の強力な推進について政策提案を実施しました。

「新たな土地改良長期計画とみどりの食料システム戦略における今後の農業農村整備事業の展開方向について」をテーマとして掲げ、佐賀県農業農村整備事業推進協議会 江里口会長(本連合会副会長)並びに本連合会 田島会長を筆頭に地域の実情を伝え、今後のNN関連予算の確保や事業制度の更なる拡充などについて要望書を手交しました。

佐賀県土地改良事業団体連合会

会長	専務理事	事務局長	部	部長	課
田 島 健 一	高 田 俊 行	(兼)農地・水協議会 秋 永 一 隆	総務部	北 原 正 昭	総務企画課
					土地改良区体制 強化財務担当
					会員支援課
					ため池 サポートセンター
					水土里情報 推進室
			事業部	白 武 直 樹	農村整備1課
					受益農地管理 強化推進室
					農村整備2課
					一級建築士 事務所
					施設管理課
					管理運営体制 強化推進室

本会人事異動

(令和3年4月1日付 課長級以上)

氏 名	新	旧
秋 永 一 隆	事務局長	総務企画課 課長
竹 下 正 則	総務企画課 課長	総務企画課 課長補佐
山 口 浩 史	会員支援課 課長	換地用地課 課長

令和3年度 職員配置表

課長・室長	課長補佐	係長	主任	技師 主事	技師補 主事補	再雇用 会計年度
竹下 正則	真島 隆晃	(兼) 坂口みどり		(兼)農地・水協議会 江川 綾香 貞 富 光 美		川内野 恵子
	(兼)会計指導員 真島 隆晃			(兼)会計指導員 江川 綾香		
(兼)農地・水協議会 山口 浩史	中井 崇敬 坂口 誠治	熊本県人吉市派遣 山口 和博 坂口みどり (兼)農地・水協議会 溝口 弘	北村 直樹 (兼)農地・水協議会 下 平 諒	片 渕 慎 也		(再) 泉 博 文 長谷川結香 (兼)農地・水協議会 古賀 幹子 (兼) 川内野 恵子
(兼)センター長 山口 浩史	(兼) 坂口 誠治	(兼) 溝口 弘	(兼) 下 平 諒			(兼) 古賀 幹子
(兼)水土里情報 推進室長 北原 正昭	(兼) 中井 崇敬		(兼) 北村 直樹	(兼) 片 渕 慎 也		(兼)(再) 泉 博 文 (兼) 長谷川結香
(兼) 白武 直樹	牟田口 保 西村 信哉	野口 一成 石橋佳代子 大吉 剛史 石丸 和幸		辻 田 達 也	中島 和哉 増田 涼大 松尾 幸亮	北村 武士 中山 香織
(兼)室長 白武 直樹	(兼)換地専門指導員 牟田口 保	(兼)換地専門指導員 石丸 和幸				
赤崎 公壽	古川 秀一	八木 隆之 中道 範明	原 祥太 江頭 英貴		山田 泰大 石瀧奈々未	森 優花 今泉 春香
(兼)一級建築士 赤崎 公壽						
江頭 真一	奥 清輝	真島 孝太 山口 国広 光武 進哉		井上 佳史	佐藤 凌弥 山田 陽人 内田 直大	田中 美穂
(兼)室長 管理専門指導員 江頭 真一	(兼)管理専門指導員 奥 清輝	(兼)管理専門指導員 真島 孝太 (兼)管理専門指導員 山口 国広 (兼)管理専門指導員 光武 進哉				

令和2年度 退任・退職者

副島 孝文 【専務理事】
 喜多 誠 【事務局長】
 泉 博文 【事業調整担当部長】
 永尾 智啓 【農地・水協議会部長】



～在任中は大変お世話になりました～

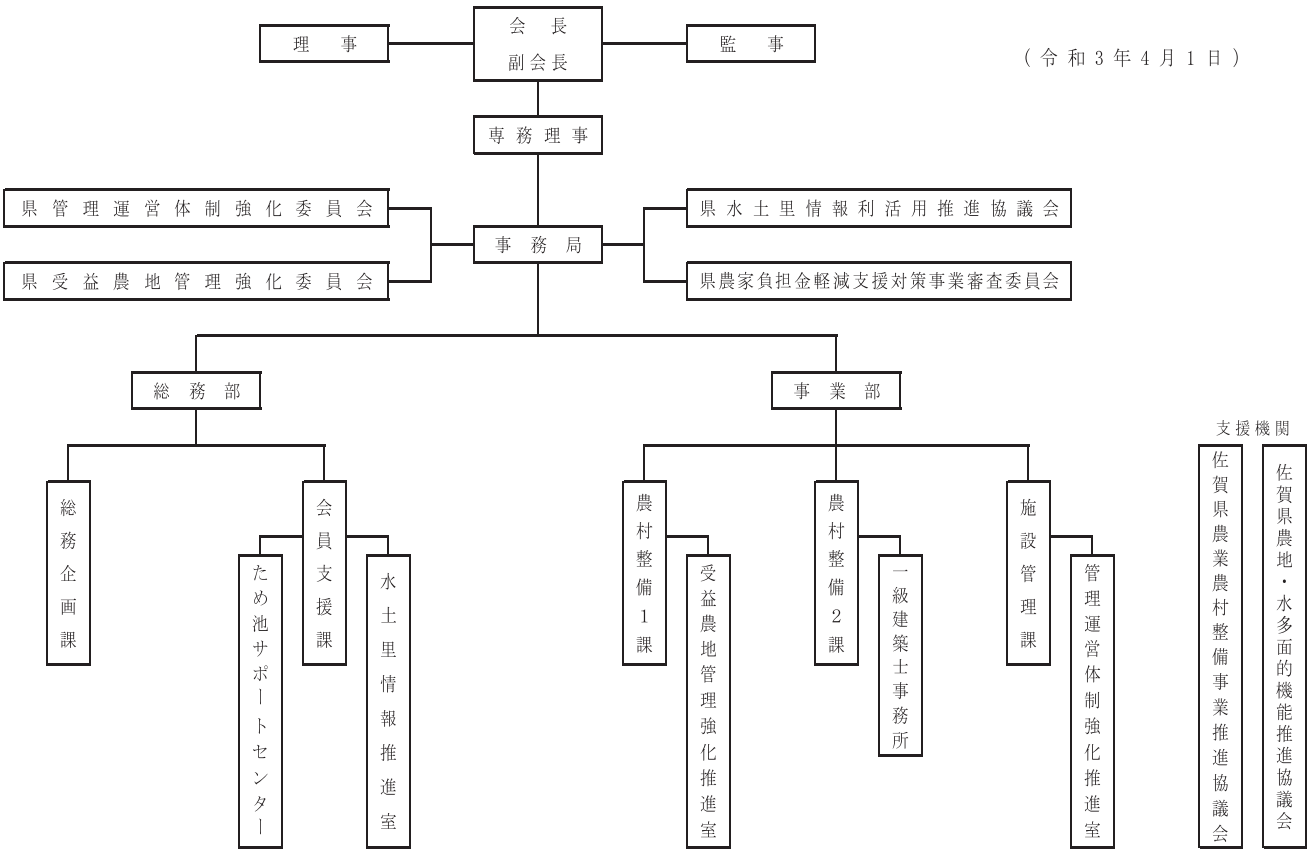
佐賀県土地改良事業団体連合会 役員一覧

(令和3年4月10日付)

役職名	氏 名	他の役職等
会 長	田 島 健 一	白石町長・白石土地改良区理事長
副 会 長	江 里 口 秀 次	小城市長
副 会 長	松 本 茂 幸	神埼市長
専務理事	高 田 俊 行	学識経験者(R3.4.1新任)
理 事	秀 島 敏 行	佐賀市長・佐賀土地改良区理事長
理 事	峰 達 郎	唐津市長・上場土地改良区理事長
理 事	深 浦 弘 信	伊万里市長・伊万里市土地改良区理事長
理 事	水 川 一 哉	大町町長
理 事	樋 口 久 俊	鹿島市長
総括監事	合 瀬 健 一	三日月土地改良区理事長
監 事	伊 東 健 吾	吉野ヶ里町長
監 事	中 原 貞 毅	鹿島市土地改良区理事長

任期:令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

佐賀県土地改良事業団体連合会機構図





どかいれん 短信

2/4

「換地委員等実務研修会」を開催しました

ほ場整備を実施している地元換地委員及び市町担当者へ向けた換地事務並びに換地計画に係る研修会を開催しました。

土地改良区体制強化事業に定める研修会の一環であり、ほ場整備工事後に進める主な換地事務から一時利用地の指定、確定測量及び換地計画書作成等について、本連合会換地用地課職員による講義をしました。

当日は、新型コロナウイルス感染防止策を施して開催し、出席された換地委員から積極的に質問され、地元の農業を支えていくために尽力されていることを改めて感じました。

本研修会が今後の換地事務を円滑に進める一助となれば幸いです。



唐津市相知町黒岩地区(黒岩公民館)

4/5

災害復旧支援 ～熊本県人吉市役所へ本会職員を派遣～

令和2年7月豪雨によって球磨川が氾濫し、甚大な被害を受けた熊本県人吉市の災害復旧支援として、土地改良事業団体連合会九州協議会の災害協定のもと昨年度に引き続き令和3年4月5日から令和4年3月31日まで間、本会職員1名を人吉市役所(農林整備課)へ派遣しています。

当市役所では、現地調査をはじめ災害復旧工事へ向けた発注設計書の作成や施工監理など多岐にわたる業務に従事しており、被災地の一刻も早い復旧・復興を支援しています。



発注設計書を作成する山口係長

6/25

「複式簿記導入促進特別研修会」を開催しました

令和4年度までに貸借対照表の作成及び公表が原則として義務付けられたことを踏まえ、全国水土里ネット主催による「複式簿記導入促進特別研修」が開催されました。

新型コロナの影響によりWeb方式での開催となり、各土地改良区において受講されましたが、インターネット通信が未接続の土地改良区については本連合会で受講して頂き、来年度からの運用へ向けて受講者は真剣にメモを取られていました。



受講する土地改良区及び本連合会職員(本会会議室)



佐賀県農地・水多面的機能推進協議会 からのお知らせ



令和3年度 本協議会幹事会及び総会(書面)を開催しました

幹事会 令和3年5月19日 佐賀市 グランデはがくれ

総会 令和3年6月9日 新型コロナの影響により書面議決

～広域組織の設立へ向けた支援をいたします～

本協議会では、活動組織の市区町村単位等による広域エリアにおいて、集落(活動組織)、土地改良区、地域の関係団体など、地域の実情に応じた者から構成される組織づくりを後押しします。また、広域活動組織の設立に伴い、支援を受けることができますので、詳しくは本協議会へお問い合わせください。(問合せ先 0952-24-6267)



広域化について意見交換する町及び本協議会職員(右)

どかいわんの話題

NEW FACE



【氏名】 松尾 幸亮
【配属先(部・課)】 事業部 農村整備1課

Q1 農業土木に興味を持ったきっかけは？

祖父母が農業をしていて幼いころから農業が身近にあり興味を持ちました。また、大学で森林や環境について学ぶ中で農業就業者の減少や高齢化で耕作放棄地の問題が深刻化していることをあらためて知り、対策として農地の基盤整備が重要であることから農業土木へ興味を持ちました。

Q2 現在どのような業務をしている？

水路などの実施設計業務やほ場整備に伴う確定測量業務です。

Q3 趣味(マイブーム)や特技は何？

ルームランナーで走ることです。少しでも長い距離、長い時間走るのが目標です。また、中学校から大学まで続けた剣道は、4段まで取得しています。

Q4 人生初の給与は何に使った？

家族に焼き肉を御馳走しました。

Q5 これからの抱負をひとこと！

まだ分からないことばかりですが、一日でも早く業務を覚えて精進してまいりますので、今後ともご指導のほどお願いいたします。

NEW FACE



【氏名】 内田 直大
【配属先(部・課)】 事業部 施設管理課

Q1 農業土木に興味を持ったきっかけは？

高校に入学し、深く学ぶにつれて「農業土木は人々が生活する上で大事なこと」だと分かり、自分も人々の役に立ちたいと思い興味を持ちました。

Q2 現在どのような業務をしている？

用排水路浚渫工事と揚水機場補修工事の設計・積算業

務や揚排水機場の点検業務をしています。

Q3 趣味(マイブーム)や特技は何？

料理と温泉巡りです。特に料理は、和食などを中心にいろいろなものを作ったりしています。

Q4 人生初の給与は何に使った？

今まで育ててもらった母親への感謝の気持ちとして花束を送り、家族みんなをご飯へ連れて行きました。

Q5 これからの抱負をひとこと！

4月から入職し最初は分からないことばかりで、毎日緊張しながら通勤していると一日があっという間でした。しかし、先輩方からの声かけや丁寧な指導など、周りの優しい方達に恵まれています。今は新たな目標として、農業土木の分野に貢献し地域の人々に「いつもありがとう」と言ってもらえるように努力していきたいと思います。これからもご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

～ひとこと～

『排水機場操作説明会』

水土里ネットさが 施設管理課
技師 井上 佳史



小城市芦刈第一排水機場で操作説明をする井上技師(右から2人目)

「ドキッ、ドキッ…。」毎年、九州北部地方が梅雨入りする約1ヶ月前に必ずと言っていいほど依頼がある排水機場の操作説明会。操作員の方々が交代する時期でもあり、梅雨から台風のシーズンが終わるまで稼働する当施設。近年、ゲリラ豪雨等により稼働日数が増えているが、農地の冠水を防ぐと同時に道路や一般家屋への浸水対策へも寄与している公共性が高い施設である。

このように重要度の高い施設であるために慎重かつ的確な操作説明に四苦八苦…。「より分かりやすく、より簡潔に」と意識しながら説明を行うが、「ドキッ!!」とするような鋭い質問もあるだけに自分の勉強にもなる貴重な現場である。

今年一年、農家の方々にとってほどよい降雨量であることを願うばかりです。

お知らせ

複式簿記導入へ向けた巡回指導計画

土地改良区が管理または所有する土地改良施設については、令和4年度までに原則として貸借対照表を作成し公表することが義務づけられました。これらに対応するため、令和元年度から本会の会計指導員等による土地改良区への巡回指導を実施しています。

なお、令和3年度は以下の土地改良区について巡回指導を実施しますので御協力をお願いします。

【佐賀中部管内】

大中島土地改良区
羽佐間水道土地改良区
多久市納所土地改良区
天ヶ瀬土地改良区
多久東部土地改良区

八ツ溝土地改良区
佐賀西部土地改良区
鍋島東土地改良区
鍋島本村土地改良区
高木瀬土地改良区

【伊万里管内】

東山代干拓土地改良区
伊万里市土地改良区
【東部管内】
佐賀東部土地改良区

【杵藤管内】

鹿島市多良岳土地改良区
大浦地区土地改良区
北多良土地改良区

<問合せ先> 総務企画課 (0952) 24-6268

非補助農業基盤整備資金をご活用ください

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助事業でない事業（県又は市町単独補助事業）についても融資の対象となります。

～融資用途の例～

- かんがい排水やほ場整備、客土等の事業を実施し農業基盤整備の整備・保全の推進を図る場合の費用
- 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分（トイレ、浴室、洗面所の改修）
- 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置、土地改良区事務所の建設や事務機等の購入費用など

利 率	融資時の利率は金融情勢により変動
償 還 期 間	25 年以内（うち措置期間 10 年以内）
貸 付 限 度 額	農家負担額（最低額 50 万円）

<問合せ先> 会員支援課 (0952) 24-6474

土地改良法律相談で問題解決の糸口を

土地改良事業（土地改良法）に関する諸問題へ本会の顧問弁護士が法律的な観点から問題解決へと努めています。相談費用は本会が負担しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

～これまでの主な相談内容例～

- 賦課金滞納処分に関する相談
- 土地改良区運営に関する相談
- 土地改良事業を円滑に遂行するための相談



<問合せ先>
会員支援課(0952)24-6474

土地改良施設賠償責任保険のご案内

市町・土地改良区が使用または管理する土地改良施設の欠陥や管理ミスなどに起因する事故で、他人へ傷害を与えたり財物を損傷させた場合など、法律上の損害賠償責任を負う場合に対し保険金をお支払いするものです。

施設種別	保険料
農 道	60 円/km
用 排 水 路	60 円/km
溜 池 ・ 貯 水 槽	250 円/箇所
パイプライン	600 円/km

<問合せ先> 会員支援課(0952)24-6474



「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展 作品募集

主催 全国土地改良事業団体連合会 都道府県土地改良事業団体連合会



「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展2021作品募集



2020年度受賞作品

子どもたちに、農業・農村の豊かな自然や風景、大切な水路を守っている人たちの姿を見つめて心に残してほしいと思います。受賞作品は東京都美術館にて展示します。たくさんのご応募をお待ちしています。

テーマ 新発見！わたしたちのふるさと自慢（題材は広く農業・農村に関わること）

応募資格 小学生以下 応募期間 8月2日(月)～9月10日(金)必着

各賞 ●農林水産大臣賞 ●文部科学大臣賞 ●環境大臣賞 ●全国水士里ネット会長賞
●協賛企業賞多数（昨年度実績）

<問合せ先>

会員支援課 電話 (0952)24-6474

連合会手帳

主な行事

	内 容	開催地
7月7日	佐賀県管理運営体制強化委員会及び受益農地管理強化委員会	佐賀市
7月30日	佐賀県NN推進協議会要請活動	熊本県
7月29日	佐賀県土地改良事業団体連合会監事会	佐賀市
8月19日	佐賀県土地改良事業団体連合会理事会	佐賀市
8月30日	土地改良区役職員研修会	佐賀市
10月6日	第43回全国土地改良大会	群馬県

第43回

全国土地改良大会 群馬大会



<問合せ先>

総務企画課 電話 (0952)24-6268

～会員のうごき～

(令和3年6月末)

管内	市町	改良区	計
佐賀中部	3	21	24
東部	6	9	15
唐津	2	3	5
伊万里	2	3	5
杵藤	7	9	16
計	20	45	65

広報 『さかの土地改良』 2021.7 Vol.192

発行 佐賀県土地改良事業団体連合会

編集 総務部 会員支援課

〒840-0811 佐賀県佐賀市大財三丁目8番15号

☎ (0952) 24-6474(直通)

✉ kaiin@midorinet-saga.jp

編集後記

『先輩方はここ(いま暮らしている場所)の良さば今まで伝えきれとらんやった。』先日、現地調査の際に立ち会っていただいた、とある区の役員さんとの会話。戦国時代の龍造寺隆信はこの地を守り、そして勢力拡大へと別の地へ渡り応戦。「ここは徐々に人が減り発展が止まっていって」と。役員さんは改めてこの地に関する古文書を読み込み、「自分が暮らしているこの場所は、元来お城を構えお堀の跡が一部残り、じつはものすごく歴史あるところであったにも関わらず、先輩方からはほとんどそのことを聞いたことが無かったらしい。ここはよかところやっけん、自分が伝えていかんばいかん」と、笑顔でお話いただいたことが印象に残りました。(もちろん、しっかりと現地調査を終えてからのお話。)

広報誌「さかの土地改良」も“伝える”ひとつのツールとして、皆さまへ有意義な情報をお届けできるよう精進して参りますので今年度も御拝読をよろしくお願いいたします。(M)